

案件対象施設及び
指定管理者候補者選定結果一覧表等

(部小委員会による選定案)

令和5年10月12日開催
弘前市指定管理者選定等審議会

指定管理者候補者選定案一覧

諮問案件 3 弘前市宮川交流センターほか計 13 施設の指定管理者候補者の選定について

No.	募集グループ名	施設名称	施設数	選定方法	指定期間(年)	指定管理者候補者	(参考) 現指定管理者	施設所管課	
1	弘前職業能力開発校	弘前職業能力開発校	1	非公募	2	職業訓練法人 弘前職業訓練協会	職業訓練法人 弘前職業訓練協会	商工労政課	
2	弘前市伝統産業会館	弘前市伝統産業会館	1	非公募	5	弘前市伝統産業会館 管理運営委員会	弘前市伝統産業会館 管理運営委員会	産業育成課	
3	弘前市宮川交流センター	弘前市宮川交流センター	1	非公募	5	和徳学区町会連合会	和徳学区町会連合会	市民協働課	
4	弘前市清水交流センター	弘前市清水交流センター	1	非公募	5	清水交流センター管理 運営委員会	清水交流センター管理 運営委員会		
5	サンライフ弘前	サンライフ弘前	1	非公募	5	「サンライフ弘前」 管理運営委員会	「サンライフ弘前」 管理運営委員会		
6	弘前市千年交流センター	弘前市千年交流センター	1	非公募	5	弘前市千年地区 町会連合会	弘前市千年地区町会 連合会		
7	弘前市三省地区交流センター	弘前市三省地区交流センター	1	非公募	5	三省地区交流センター 運営委員会	三省地区交流センター 運営委員会		
8	弘前市町田地区ふれあいセンター	弘前市町田地区ふれあいセンター	1	非公募	5	町田地区ふれあいセ ンター運営委員会	町田地区ふれあいセ ンター運営委員会		
9	裾野地区体育文化交流センター	裾野地区体育文化交流センター	1	非公募	5	裾野地区町会連合会	裾野地区町会連合会		
10	新和地区体育文化交流センター	新和地区体育文化交流センター	1	非公募	5	新和地区町会連合会	新和地区町会連合会		
11	岩木嶽さわやかホール	岩木嶽さわやかホール	1	非公募	5	常盤野町会	常盤野町会		
12	岩木常盤野コミュニティセンター	岩木常盤野コミュニティセンター	1	非公募	5	岩木常盤野コミュニ ティセンター管理組 合	岩木常盤野コミュニ ティセンター管理組 合		
13	昴地区集会所	昴地区集会所	1	非公募	5	昴町会	昴町会		
合計			13						

指定管理者候補者選定案結果等

弘前職業能力開発校

担当部課名	商工部 商工労政課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日

弘前職業能力開発校評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	職業訓練法人 弘前職業訓練協会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	開発校が、労働者に対し職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練を受ける場を提供することにより、当市の地域産業に寄与する技能水準を維持・継承するための管理方法が提案されているか	事業計画書1	弘前職業能力開発校の管理運営にあつては職業訓練を通じて技能の錬磨に励むとともに心身の鍛錬、技能検定挑戦、技能士資格取得を図り開発校利用促進を図ります。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令、条例及び規則を遵守し、開発校の利用者の平等な利用を確保し、差別的な取扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2 3(1), 7	弘前職業能力開発校の基準に基づき平等な利用を確保するとともに苦情が発生した場合は講師会議及び役員会等で適正に処理する。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の確保を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の確保を図るための具体的な計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), (4), 7	弘前職業能力開発校のパンフレットを作成し関係者に配布する。訓練を快適な環境で実施するため施設内外の掃除美化に努めています。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の意見・要望を、日常的または定期的に把握するための仕組みを整備し、かつ、実行するとともに、把握した内容について、施設管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(2), (3), 7	訓練生や事業主にアンケートを実施し利用者のニーズを把握する。その内容を講師会議で共有しサービスの向上を図ります。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	利用者が安全・安心・快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効果的・効率的な管理に努めることができるよう、具体的な計画が記載され、その内容が適格で実現性の高いものとなっているか。	事業計画書3(4)	施設の定期的な見回りにより不備を速やかに報告する体制を取り、火災や地震など発生した場合は緊急連絡マニュアルを活用し速やかに報告できるよう周知徹底しております。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含め、施設の管理に係る経費の内容が、具体的で妥当なものとなっているか。	事業計画書9 収支予算書	人件費、事務費、施設管理費ともに市が示した積算基準内で収めています。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入について、過大な計画となっていないか。また、支出についても、過小な計画となっていないか。	事業計画書9 収支予算書	収支計画は事業計画の整合性を図るように積算を行っている。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	開発校の統括として、校長を配置するとともに、常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。また、施設管理上必要な研修について、配置される職員が柔軟に対応できる体制となっているか。	事業計画書4, 5	市が示した管理業務基準書をみだし、校長と常に1名以上の職員を配置できる体制を整えている。青森県職業能力開発協会が主催の事務職員研修に参加しスキルアップを図っています。
② 安定的な管理運営が可能となる経理的基盤	収支基盤及び経営が安定しているか。	定款等、経営状況を示す書類等	訓練生の確保に努め経営の安定を図っています。
③ 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について、具体的な手法が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書6	弘前市個人情報の保護に関する法律施行条例にのっとり個人権利益を侵害することのないよう努める。
④ これまでの施設の管理運営実績	これまでの施設の管理は、適切な管理体制のもと、施設管理がおこなわれていたか。	現在の指定管理等の実績を説明する書類	定期的に行われるモニタリングでは良好な評価を得ています。

弘前職業能力開発校収支予算比較表

(千円)

区分	6年度	7年度	総額	備考
収入	13,224	14,000	27,224	会費、負担金、補助金等
うち指定管理料	0	0	0	
うち利用料金	0	0	0	
支出	13,224	14,000	27,224	
うち人件費	8,930	8,800	17,730	
収入－支出	0	0	0	

(千円)

区分	6年度	7年度	総額	弘前市との差額	備考
収入	14,000	14,000	28,000	776	
うち指定管理料	0	0	0	0	
うち利用料金	0	0	0	0	
支出	14,000	14,000	28,000	776	
うち人件費	8,800	8,800	17,600	△ 130	
収入－支出	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前職業能力開発校令和6年度収支予算内訳比較表

(単位:千円)

団 体 名		弘前市		職業訓練法人弘前職業訓練協会	
		総額	内訳	総額	内訳
項 目	市指定管理料	0		0	
	利用料金	0		0	
	市の指定事業収入	0		0	
	会費、負担金、補助金等	13,224		14,000	
収入合計(A)		13,224		14,000	
項 目	人件費	8,930		8,800	
	常勤職員給料等	4,208		4,200	
	共済費	400		400	
	臨時職員賃金等	0		0	
	講師謝金	4,322		4,200	
	事務費	896		1,330	
	消耗品費	231		430	
	印刷製本費	99		180	
	通信運搬費	160		150	
	その他	406		570	
	施設管理費	2,377		2,770	
	施設管理委託料	304		380	
	光熱水費	1,083		1,310	
	修繕料	100		100	
	その他	890		980	
その他	1,021		1,100		
支出合計(B)		13,224		14,000	
収 支 (A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前職業能力開発校指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	職業訓練法人 弘前職業訓練協会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	開発校が、労働者に対し職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練を受ける場を提供することにより、当市の地域産業に寄与する技能水準を維持・継承するための管理方法が提案されているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	20
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令、条例及び規則を遵守し、開発校の利用者の平等な利用を確保し、差別的な取扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	20
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		200	148
① 利用者の確保を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の確保を図るための具体的な計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	54
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の意見・要望を、日常的または定期的に把握するための仕組みを整備し、かつ、実行するとともに、把握した内容について、施設管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	60
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	利用者が安全・安心・快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効果的・効率的な管理に努めることができるよう、具体的な計画が記載され、その内容が適格で実現性の高いものとなっているか。	50	34
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		125	100
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含め、施設の管理に係る経費の内容が、具体的で妥当なものとなっているか。	75	60
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入について、過大な計画となっていないか。また、支出についても、過小な計画となっていないか。	50	40
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	85
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	開発校の統括として、校長を配置するとともに、常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。また、施設管理に必要な研修について、配置される職員が柔軟に対応できる体制となっているか。	25	23
② 安定的な管理運営が可能となる経理的基盤	収支基盤及び経営が安定しているか。	25	19
③ 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について、具体的な手法が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	25	20
④ これまでの施設の管理運営実績	これまでの施設の管理は、適切な管理体制のもと、施設管理がおこなわれていたか。	25	23
評点合計		500	393
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	78.6
最低基準点	最低基準の60点に達しているか。		○
選定結果			○

指定管理者候補者選定案結果等

弘前市伝統産業会館

担当部課名	商工部 産業育成課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

弘前市伝統産業会館評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	弘前市伝統産業会館管理運営委員会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	伝産会館が、伝統産業の振興を図るとともに、市民の交流活動の場を提供するという設置の理念に基づく管理方法が提案されているか。	事業計画書1	施設の設置目的（伝統産業の振興と市民の交流活動の場の提供）に沿った適正な管理を行う。特に、伝統産業の振興については、掲示物等による伝統工芸品の魅力発信、伝統工芸品関係者の利用促進、青森県漆器協同組合連合会の事業への積極的な協力等を行う。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令、条例、規則等を遵守し、利用者の平等な利用を確保し、差別的な取扱いをしないための具体的な手法が記載されており、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2、3(1)(2)	利用者の意見・要望を適切に把握し、平等なサービスや利用の提供に努める。利用申込は基本的に先着順とするが、一部の団体が独占的に利用することがないようにスケジュール等の調整も配慮する。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るための具体的な事業計画が記述されており、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(3)	時間単位での利用が可能のため利便性等の周知に努め、利用者の要望に対応していく。弘前市民や伝統工芸品関係団体へ利用を促し、利用者の増加につなげたい。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の要望・意見を、日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、実行するとともに、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(4)、7	利用者とのコミュニケーションを図り、アンケート調査を実施することで、利用者の意見・要望を把握し、市と協議検討したうえで業務改善に反映させる。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が適格で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(5)、8	公共施設維持管理マニュアルに基づいた日常的な施設の点検や、簡単清掃、夏季の草刈、冬季のスロープ・玄関先の除雪等を行い、適切な維持管理と利用者の安全確保に努める。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	収支予算書	収支予算書のとおり。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	収支予算書	過去4年間の収支決算書と比較して同程度の収支計画となっている。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかで、施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。施設運営に柔軟に対応できる人的計画がなされ、職員の育成・研修体制なども能力の向上が図られるよう計画されているか。	事業計画書4	現組織体制：委員長（館長）1名（石岡健一）・副委員長1名（坂本彰彦）・理事1名（工藤俊広）・監事1名（小林孝幸）・事務局長兼管理人1名（鈴木淳子）の5名体制。当該施設の管理運営に精通しており、防火管理者の資格を有する者を管理人として配置する。基本的には管理人が常駐し、不在時は他の委員が代理業務を行う。
② 安定的な管理運営が可能となる経理的基盤	収支基盤及び経営が安定しているか。	定款等、経営状況等	弘前市伝統産業会館管理運営規程を定め、法令に則って経営している。収益基盤及び経営についても安定しており、納税義務も果たしている。
③ 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	弘前市個人情報の保護に関する法律施行条例の趣旨に基づき、保護を徹底する。情報漏えいの防止、第三者への情報提供及び目的外利用の禁止など、委員会において指導徹底している。個人情報が入っているパソコンはパスワードにて管理し、書類はキャビネット等に保管し施錠している等、他の者が個人情報を知り得ないように管理し保護策を講じている。
(6)効果的な管理を踏まえた上で、伝統工芸関係の人材の確保に配慮していること			
伝統工芸関係の人材確保への配慮	伝統産業の振興を図ることを目的として、伝統工芸品の魅力発信や伝統工芸品関係事業者等の当該施設の利用促進に配慮しているか。	事業計画書1、4	当委員会は津軽塗関係者で構成されていることから伝統産業の振興を図るとともに、発展に寄与することが出来る。伝統産業の振興を目的とした施設であるため、掲示物等による伝統工芸品の魅力発信、伝統工芸品関係事業者の利用促進、青森県漆器協同組合連合会の事業への積極的な協力等を行うことにより、伝統工芸関係の人材の確保に努める。

弘前市伝統産業会館収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	350	350	350	350	350	1,750	
うち指定管理料	0	0	0	0	0	0	指定管理料基準額
うち利用料金	320	320	320	320	320	1,600	
支出	350	350	350	350	350	1,750	(収入と同額)
うち人件費	0	0	0	0	0	0	(同上)
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

弘前市伝統産業会館管理運営委員会							
区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	350	350	350	350	350	1,750	弘前市との差額 0
うち指定管理料	0	0	0	0	0	0	0
うち利用料金	320	320	320	320	320	1,600	0
支出	350	350	350	350	350	1,750	0
うち人件費	0	0	0	0	0	0	0
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市伝統産業会館 令和6年度収支予算内訳比較表

(単位:千円)

団体名		弘前市		弘前市伝統産業会館管理運営委員会	
		総額	内訳	総額	内訳
項目	市指定管理料				
	利用料金	320		320	
	市の指定事業収入				
	その他	30	青森県漆器協同組合連合会負担金	30	青森県漆器協同組合連合会負担金
収入合計(A)		350		350	
項目	人件費	0		0	
	常勤職員給料等	0		0	
	共済費	0		0	
	臨時職員賃金等	0		0	
	事務費	10		10	
	消耗品費	10		10	コピー用紙、電球、除草剤等
	印刷製本費	0		0	
	通信運搬費	0		0	
	その他	0		0	
	施設管理費	340		340	
	施設管理委託料	0		0	
	施設修繕料	0		0	
	光熱水費	340		340	電気料、水道料、ガス代、灯油代
	その他	0		0	
市の指定事業費	0		0		
その他	0		0		
支出合計(B)		350		350	
収支(A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市伝統産業会館指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	弘前市伝統産業会館 管理運営委員会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	伝産会館が、伝統産業の振興を図るとともに、市民の交流活動の場を提供するという設置の理念に基づく管理方法が提案されているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令、条例、規則等を遵守し、利用者の平等な利用を確保し、差別的な取扱いをしないための具体的な手法が記載されており、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		150	106
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るための具体的な事業計画が記述されており、十分な効果が期待できる内容となっているか。	50	32
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の要望・意見を、日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、実行するとともに、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	50	38
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を利用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が適格で実現性の高い内容となっているか。	50	36
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		150	120
① 施設の管理運営に係る経費の内容	施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	75	57
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	75	63
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		75	62
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかで、施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。施設運営に柔軟に対応できる人的計画がなされ、職員の育成・研修体制なども能力の向上が図られるよう計画されているか。	25	22
② 安定的な管理運営が可能となる経理的基盤	収支基盤及び経営が安定しているか。	25	19
③ 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	25	21
(6) 効果的な管理を踏まえた上で、伝統工芸関係の人材の確保に配慮していること		50	42
伝統工芸関係の人材確保への配慮	伝統産業の振興を図ることを目的として、伝統工芸品の魅力発信や伝統工芸品関係事業者等の当該施設の利用促進に配慮しているか。	50	42
評点合計		500	391
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	78.2
最低基準点	最低基準点60点を超過しているか。		○
選定結果			○

指定管理者候補者選定案結果等

弘前市宮川交流センター

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

弘前市宮川交流センター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	和徳学区町会連合会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	地域住民の方が利用してよかった思ってくれる様な施設を目指す。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	特に軽体育室の利用に関しては、団体、個人共に満足できるような、利用制度を作っている。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), 7	活動中のサークルを地域に紹介して、新規参加者を増やす。また、自主事業を新しいのサークル発足の足掛かりとする。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	ハートウォームな対応に心がける。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4), 8	堅実な維持管理に努める。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	毎回それなりの参加者を数え、次回開催の要望の声もあり、それにも応える。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	適正な経費配分に努める。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	計画の実施に必要な収支は図られている。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	現在までに十分な実績を上げており、今後も現行のやり方を継続していく。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報の取り扱いには、万全を尽くしており、問題の発生は今までない。今後も現行を維持していく。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	管理指標も大方クリアしており、収支もバランスしている。

弘前市宮川交流センター収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入							
うち指定管理料	8,982	8,982	8,982	8,982	8,982	44,910	
うち利用料金	8,982	8,982	8,982	8,982	8,982	44,910	指定管理料基準額
支出							
うち人件費	8,982	8,982	8,982	8,982	8,982	44,910	(収入と同額)
収入一支出	8,450	8,450	8,450	8,450	8,450	42,250	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入								
うち指定管理料	8,982	8,982	8,982	8,982	8,982	44,910	0	
うち利用料金	8,982	8,982	8,982	8,982	8,982	44,910	0	
支出								
うち人件費	8,982	8,982	8,982	8,982	8,982	44,910	0	
収入一支出	8,557	8,557	8,557	8,557	8,557	42,785	535	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市宮川交流センター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団 体 名		弘前市		和徳学区町会連合会	
		総額	内訳	総額	内訳
項 目	市指定管理料	8,982		8,982	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		8,982		8,982	
項 目	人件費	8,450		8,557	
	常勤職員給料等	6,756		6,504	職員5名
	共済費	963		963	
	手当等	700		700	
	賃金等	31		30	
	報酬			360	所長
	事務費	402		285	
	消耗品費	383		255	
	印刷製本費				
	通信運搬費	6		10	切手代
	旅費	13		20	
	施設管理費	94		100	
	施設管理委託料				
	施設修繕料	70		70	
	原材料費	24		30	
その他	36		40	健康診断料	
支出合計(B)		8,982		8,982	
収 支 (A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市宮川交流センター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	和徳学区町会連合会
(1) 総合的事項		50	42
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	42
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	205
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	63
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	56
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	63
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	23
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	411
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	82.2
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等

弘前市清水交流センター

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

弘前市清水交流センター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	清水交流センター管理運営委員会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	世代間の交流や高齢者に対する、生きがいつくり、保健福祉向上等を図り、施設の円滑な管理運営を行う。児童の健全育成・伝統工芸等を行える施設とする。利用者が安心して利用出来る様にきめ細やかなサポートを実施し、円滑に管理出来る施設にする。
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	専用利用者の予約受けは、平等に使用出来るように調整をし、より多くの利用者に提供出来るようにしている。又、集会室兼軽体育室の個人使用については随時、個人利用者に提供をし、個人利用の促進を図って行く。
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書 3(2), 7	年1回のアンケートを通して、何が求められているのかニーズを把握し事業計画をしている。かつ、一人でも多くのリピーターが増える計画・企画をしている。時代に合った広報活動を目指している。施設利用について市民から問い合わせ等の際は、対応マナーに十分気を付けている。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	施設の概要については、市のホームページに掲載し広く周知する。又、自主事業を通して、各種教室（年1回のアンケート調査結果により）を企画し施設の活用機会を提供する。利用者が部屋の使用後は忘れ物等がないか、必ず点検をしている。又、利用者が気持ち良く使用出来る用に掃除は徹底している。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書 3(4), 8	施設の内外は、常に巡視し点検を行う。利用者から苦情があった場合、その内容と処理方法について市の担当課に報告している。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	老若男女問わず地域住民の生きがい作りと交流・健康作りを目的と実施する。その都度計画のうえ「広報ひろさき」掲載している。利用者の要望や意見を聞くなかアンケート調査を行い、ニーズを把握する。
(4) 施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	予算額の収支は適正に実施している。又、努力を惜しまない。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	管理運営費の収支の積算と事業計画は、目標通り実現出来る用になっている。
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	所長を含み、職員6名の体制である。礼儀を重んじ職場の秩序が保持出来る人。センターの諸規則及び上司の指示・命令など誠実に守り、自己の業務に専念できる人材を配置する。地域の町会等を中心に適正者を選任する。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報保護法及び弘前市個人情報保護条例の趣旨にのっとり、業務上知り得た個人情報については、個人の権利・利益の侵害の防止を図り必要な措置を講じる。利用者名簿・書類の管理については、職員に周知徹底を図る。知り得た個人情報は、みだりに他人に知らせることはしない。又、不当な目的に使用しない。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	予算の収支は適正に実施している。支出額の多い物等に関しては担当課に報告・連絡・相談をしながら解決している。

弘前市清水交流センター収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入							
うち指定管理料	9,193	9,193	9,193	9,193	9,193	45,965	
うち利用料金	9,193	9,193	9,193	9,193	9,193	45,965	指定管理料基準額
支出							
うち人件費	9,193	9,193	9,193	9,193	9,193	45,965	(収入と同額)
収入一支出	8,707	8,707	8,707	8,707	8,707	43,535	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

清水交流センター管理運営委員会

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入								
うち指定管理料	9,193	9,193	9,193	9,193	9,193	45,965	0	
うち利用料金	9,193	9,193	9,193	9,193	9,193	45,965	0	
支出								
うち人件費	9,193	9,193	9,193	9,193	9,193	45,965	0	
収入一支出	8,682	8,682	8,682	8,682	8,682	43,410	△ 125	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市清水交流センター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団 体 名		弘前市		清水交流センター管理運営委員会	
		総額	内訳	総額	内訳
項 目	市指定管理料	9,193		9,193	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		9,193		9,193	
項 目	人件費	8,707		8,682	
	常勤職員給料等	6,756		6,384	職員5名
	共済費	1,211		1,128	
	手当等	700		700	
	賃金等	40		50	
	報酬			420	所長
	事務費	365		336	
	消耗品費	340		266	
	印刷製本費				
	通信運搬費	4		20	切手代
	旅費	21		50	
	施設管理費	85		135	
	施設管理委託料				
	施設修繕料	70		100	
	原材料費	15		35	
その他	36		40	健康診断料	
支出合計(B)		9,193		9,193	
収 支 (A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市清水交流センター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	清水交流センター 管理運営委員会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	175
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	52
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	52
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	53
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	18
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	379
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	75.8
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等

サンライフ弘前

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

サンライフ弘前評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	「サンライフ弘前」管理運営委員会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	なっていると思われる。
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	日頃から利用者との窓口での対応を大切にしている。意見や要望があるが、出来る限り適切に対応している。
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書 3(2), 7	生きがい教室の実施を適切に行っていく。それによりサークルの人員確保に役立っている。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	毎年アンケート調査を実施しており、利用者のニーズに適切にこたえる。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書 3(4), 8	日頃から施設内の見回りを徹底している。故障あるときは速やかに市に連絡している。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	自主事業はサークルの人員確保に十分役立っている。
(4) 施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	適正に見込まれている。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	収入、支出の積算は適切に行われており、その通り実現可能である。
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	職員に対して、事務室を留守にしない等日頃から施設管理に必要な研修を実施している。また職員に欠員あるときは「サンライフ弘前」管理運営委員会に相談し、速やかに補充している。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	利用者の名簿等の書類を安全に管理している。知り得た個人情報を外に漏らさないよう、徹底している。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	必要に応じて、適正な収支状況で運営している。

サンライフ弘前収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	11,595	11,595	11,595	11,595	11,595	57,975	
うち指定管理料	11,595	11,595	11,595	11,595	11,595	57,975	指定管理料基準額
うち利用料金						0	
支出	11,595	11,595	11,595	11,595	11,595	57,975	(収入と同額)
うち人件費	10,110	10,110	10,110	10,110	10,110	50,550	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

「サンライフ弘前」管理運営委員会							
区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	11,595	11,595	11,595	11,595	11,595	57,975	
うち指定管理料	11,595	11,595	11,595	11,595	11,595	57,975	
うち利用料金						0	
支出	11,595	11,595	11,595	11,595	11,595	57,975	
うち人件費	10,204	10,204	10,204	10,204	10,204	51,020	470
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

サンライフ弘前収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		「サンライフ弘前」管理運営委員会	
		総額	内訳	総額	内訳
項 目	市指定管理料	11,595		11,595	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		11,595		11,595	
項 目	人件費	10,110		10,204	
	常勤職員給料等	7,524		7,704	職員5名
	共済費	1,336		1,200	
	手当等	700		750	
	賃金等	550		550	
	報酬				
	事務費	902		597	
	消耗品費	883		520	
	印刷製本費				
	通信運搬費	5		10	切手代
	旅費	14		20	
	その他			47	新聞購読料
	施設管理費	70		234	
	施設管理委託料				
	施設修繕料	70		200	
	原材料費			34	
その他	513		560	健康診断料、租税公課	
支出合計(B)		11,595		11,595	
収 支 (A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

サンライフ弘前指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	「サンライフ弘前」 管理運営委員会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	184
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	52
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	55
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	59
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	18
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	388
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	77.6
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等

弘前市千年交流センター

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

弘前市千年交流センター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	千年地区町会連合会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿っています。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	関係法令等の遵守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容になっています。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), 7	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容になっています。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっています。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4), 8	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっています。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっています。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれています。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られています。収支計画の実現可能性はあります。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっています。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされています。常に1名以上の職員を配置する計画となっています。職員確保の方策は適切で、職員の指導育成、研修体制も整えています。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	事業計画書6	個人情報等の適切な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっています。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めております。

弘前市千年交流センター収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入							
うち指定管理料	9,235	9,235	9,235	9,235	9,235	46,175	
うち利用料金	9,235	9,235	9,235	9,235	9,235	46,175	指定管理料基準額
						0	
支出							
うち人件費	9,235	9,235	9,235	9,235	9,235	46,175	(収入と同額)
収入一支出	8,717	8,717	8,717	8,717	8,717	43,585	
	0	0	0	0	0	0	

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入								
うち指定管理料	9,235	9,235	9,235	9,235	9,235	46,175	0	
うち利用料金	9,235	9,235	9,235	9,235	9,235	46,175	0	
						0	0	
支出								
うち人件費	9,235	9,235	9,235	9,235	9,235	46,175	0	
収入一支出	8,678	8,678	8,678	8,678	8,678	43,390	△ 195	
	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市千年交流センター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		千年地区町会連合会	
		総額	内訳	総額	内訳
項 目	市指定管理料	9,235		9,235	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		9,235		9,235	
項 目	人件費	8,717		8,678	
	常勤職員給料等	6,756		6,371	職員5名
	共済費	1,211		1,137	
	手当等	700		700	
	賃金等	50		50	
	報酬			420	所長1名
	事務費	387		208	
	消耗品費	330		127	
	印刷製本費				
	通信運搬費	41		46	
	旅費	16		35	
	その他				
	施設管理費	95		269	
	施設管理委託料				
	施設修繕料	70		200	
	原材料費	25		69	
その他	36		80	健康診断料	
支出合計(B)		9,235		9,235	
収 支 (A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市千年交流センター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	千年地区町会連合会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	171
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	53
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	52
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	49
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	17
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	375
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	75.0
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等

弘前市三省地区交流センター

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

弘前市三省地区交流センター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	三省地区交流センター運営委員会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	施設の設置目的である、世代間の交流や高齢者に対する生きがいがづくり、保健福祉の向上を図ることを基本としながら、利用者にとって親しみやすく、何度も利用したくなるような管理を行い、多くの市民に利用していただくことを目標とする。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	施設の専用利用の予約受付については、基本的に先着順としているが、予約が重なる場合は、後から予約の申し込みをしてきた方に、別の時間帯や部屋を打診してみるなど、多くの利用者が施設を利用できるよう調整を図っている。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書 3(2), 7	施設の概要や活動を広く周知すること、及び、利用者のニーズを把握し、利用者の増加を図る。利用者のニーズを把握するため、施設の管理運営、参加したい事業などの意見・要望等のアンケート調査を行う。また、施設を利用したことのない地域住民からの、意見・要望等を把握する。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	職員の応接マナーの向上に努めるほか、利用者ニーズに可能な限り応えられるようなサービスを図り、利用者の要望や意見をアンケート調査で確認し、できる範囲で要望に対応している。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書 3(4), 8	利用者の安全を図るため、施設内外を巡視する。利用者が使用する用具等の安全確認を徹底する。盗難、不審者を発見したときは、警察に通報し、その指示を受け市に報告する。利用者に事故があった場合は、速やかに市に報告する。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	地域住民の生きがいがづくりや世代間交流を目的とした事業を計画、実施する。また、利用者ニーズを参考とした事業の実施を検討していく。三省地区交流センター運営委員会が自主的に企画して、「自主事業実施計画書」を作成し、事業を実施する。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容については収支予算通りに適正に処理されている。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られている。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	三省地区交流センター運営委員会で施設を運営し、運営委員と職員で施設管理を行い、常に1名以上の職員を配置して施設を運営している。利用者の安全確保に留意し、施設的环境保全、保安警備に努め、良好な施設の維持管理を行う。職員の指導育成、研修会は毎年実施している。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報保護法及び弘前市個人情報保護条例の趣旨に則り、業務上知り得た個人情報については、個人の権利利益の侵害の防止を図るため、必要な措置を講ずる。利用者の申請書や名簿等、個人情報が記載された書類は、施錠できる事務室から持ち出さないなどの厳重な管理を徹底している。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めている。

弘前市三省地区交流センター収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	6,154	6,154	6,154	6,154	6,154	30,770	
うち指定管理料	6,154	6,154	6,154	6,154	6,154	30,770	指定管理料基準額
うち利用料金						0	
支出	6,154	6,154	6,154	6,154	6,154	30,770	(収入と同額)
うち人件費	5,852	5,852	5,852	5,852	5,852	29,260	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

三省地区交流センター運営委員会							
区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	6,154	6,154	6,154	6,154	6,154	30,770	0
うち指定管理料	6,154	6,154	6,154	6,154	6,154	30,770	0
うち利用料金						0	0
支出	6,154	6,154	6,154	6,154	6,154	30,770	0
うち人件費	5,785	5,785	5,785	5,785	5,785	28,925	△ 335
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市三省地区交流センター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		三省地区交流センター運営委員会	
		総額	内訳	総額	内訳
項目	市指定管理料	6,154		6,154	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		6,154		6,154	
項目	人件費	5,852		5,785	
	常勤職員給料等	4,515		4,795	職員4名
	共済費	802		570	
	手当等	420		420	
	賃金等	115			
	報酬				
	事務費	208		110	
	消耗品費	165		90	
	印刷製本費				
	通信運搬費	4		1	
	旅費	15		19	
	その他	24			
	施設管理費	72		235	
	施設管理委託料			135	
	施設修繕料	70		100	
	原材料費				
	その他	2			
その他	22		24	健康診断料	
支出合計(B)		6,154		6,154	
収支(A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市三省地区交流センター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	三省地区交流センター運営委員会
(1) 総合的事項		50	42
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	42
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	206
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	63
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	59
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	59
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	25
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	412
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	82.4
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等
弘前市町田地区ふれあいセンター

担 当 部 課 名	市民生活部 市民協働課
選 定 方 法	非公募
指 定 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

弘前市町田地区ふれあいセンター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	町田地区ふれあいセンター運営委員会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	設置目的を理解し、管理運営方針に沿って管理している。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	利用者の平等な利用を確保し、十分な効果が期待できる内容になっている。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), 7	地域の人の交流の場所となるために施設の概要を広く利用者に周知している。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものであるとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	サービスを徹底するため、対応マナーの向上に務めている。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4), 8	利用者が快適に施設を使用できるよう、安全確保に留意し、環境保全、保安警備に務める。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	自主事業計画書に記載の事業を実施し、十分な効果が期待できる内容となっている。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	業務に支障が出ないよう、適切な支出と経費の削減に務めている。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	収入、支出の積算と事業計画の整合性を図っている。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	施設運営に配慮した職員を配置し、利用者が快適に施設を利用できるように務めている。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報等を適正に取り扱うため、職員に対し周知・徹底を図っている。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきている。

弘前市町田地区ふれあいセンター収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入							
うち指定管理料	7,339	7,339	7,339	7,339	7,339	36,695	
うち利用料金	7,339	7,339	7,339	7,339	7,339	36,695	指定管理料基準額
						0	
支出							
うち人件費	7,339	7,339	7,339	7,339	7,339	36,695	(収入と同額)
収入一支出	0	0	0	0	0	35,185	
						0	

(千円)

町田地区ふれあいセンター運営委員会							
区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入							
うち指定管理料	7,339	7,339	7,339	7,339	7,339	36,695	0
うち利用料金	7,339	7,339	7,339	7,339	7,339	36,695	0
						0	
支出							
うち人件費	7,339	7,339	7,339	7,339	7,339	36,695	0
収入一支出	6,974	6,974	6,974	6,974	6,974	34,870	△ 315
						0	
						0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市町田地区ふれあいセンター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		町田地区ふれあいセンター運営委員会	
		総額	内訳	総額	内訳
項目	市指定管理料	7,339		7,339	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		7,339		7,339	
項目	人件費	7,037		6,974	
	常勤職員給料等	5,405		5,444	職員4名
	共済費	969		970	
	手当等	560		560	
	賃金等	103			
	報酬				
	事務費	183		202	
	消耗品費	143		140	
	印刷製本費				
	通信運搬費	32		52	切手代
	旅費	8			
	その他			10	
	施設管理費	90		163	
	施設管理委託料			125	
	施設修繕料	70		38	
	原材料費	20			
その他	29			健康診断料	
支出合計(B)		7,339		7,339	
収支(A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

弘前市町田地区ふれあいセンター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	町田地区ふれあいセンター運営委員会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	187
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	52
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	55
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	59
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	391
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	78.2
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等
裾野地区体育文化交流センター

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

裾野地区体育文化交流センター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	裾野地区町会連合会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	法令・条例及び規則を遵守し、設置目的に沿った適正な管理運営を行う。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	専用利用の希望が増加する冬期間（11月～4月）の予約受付を抽選方式で行い、月の利用回数、一回に利用する時間に制限を設け調整を図り、より多くの利用者に施設利用の機会を提供する。また、専用利用の予約が無い場合は個人での共用利用を促進するため、予約を随時受け付けする。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), 7	市のホームページで概要や利用方法を掲載。パンフレットやチラシを市の各公共施設に配置・配布することで周知してもらう。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	利用者への接客マナーを意識し、快適に利用してもらうため利用の仕方などをわかりやすく説明する。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4), 8	施設内外の劣化や損傷の状態、設備機器類の作動状況を確認点検を行う。また、環境整備し清潔に維持する。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	施設の設備を活かした活動の教室などを企画・開催をして関心が向くようにする。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	1年間（年度始まりの4月）を会計基準として、各項目ごとの予算使用計画を立て、支出状況を確認して見直しをしている。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	体育室・体育室備品修繕、グラウンド整備の原材料、雪囲いの原材料等を買いつけ等の変動経費が毎年必ず出るので、過不足にならないよう注意している。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	開館時間中は常に必ず1名の職員が常駐し、短時間でも居ない状態を作らない。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報の重要性を確認し、条例を遵守する。不当な目的で利用しない・他人に提供はしないのは勿論である。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	毎年更なる業務改善をしながら、効率的な管理に勤しんでいる。

裾野地区体育文化交流センター収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	6,575	6,575	6,575	6,575	6,575	32,875	
うち指定管理料	6,575	6,575	6,575	6,575	6,575	32,875	指定管理料基準額
うち利用料金						0	
支出	6,575	6,575	6,575	6,575	6,575	32,875	(収入と同額)
うち人件費	6,021	6,021	6,021	6,021	6,021	30,105	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入	6,575	6,575	6,575	6,575	6,575	32,875	0	
うち指定管理料	6,575	6,575	6,575	6,575	6,575	32,875	0	
うち利用料金						0	0	
支出	6,575	6,575	6,575	6,575	6,575	32,875	0	
うち人件費	6,125	6,125	6,125	6,125	6,125	30,625	520	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

裾野地区体育文化交流センター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		裾野地区町会連合会	
		総額	内訳	総額	内訳
項 目	市指定管理料	6,575		6,575	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		6,575		6,575	
項 目	人件費	6,021		6,125	
	常勤職員給料等	4,515		4,515	職員3名
	共済費	802		815	
	手当等	420		420	
	賃金等	284		375	
	報酬				
	事務費	252		156	
	消耗品費	187		121	
	印刷製本費				
	通信運搬費	5			
	旅費	48		30	
	その他	12		5	
	施設管理費	280		270	
	施設管理委託料				
	施設修繕料	70		70	
	原材料費	210		200	
	その他	22		24	健康診断料
支出合計(B)		6,575		6,575	
収 支 (A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

裾野地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	裾野地区町会連合会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	183
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	52
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	55
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	55
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	387
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	77.4
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等
新和地区体育文化交流センター

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

新和地区体育文化交流センター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	新和地区町会連合会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	住民の価値観や生活様式の多様化などにより、地域住民のコミュニティが希薄になってきていることから、地域の特色を生かしたコミュニティ活動の充実を図るため、町会組織で交流センターを管理し、交流の場を提供する。 世代間の交流や高齢者に対する生きがいがづくり、保険福祉の向上を図るため、下記の設置の目的を達成させるための各種事業を行い、施設の円滑な管理を行う。 使用者の安全確保に留意するとともに、施設の環境保全、保安警備に努め、良好な施設の維持管理を行うことを基本とすること。 センターが、世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいがづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るための場であるという理念に基づき、管理を行うこと。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	施設の専用利用の予約受付については、使用の調整を図り、多くの利用者に施設を提供するほか、体育室の個人利用を促進するため、専用利用の予約がない場合は、随時、施設を提供する。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), 7	施設の概要等については、市のホームページに掲載し、広く利用者に周知する。 地域の町会に対しては、回覧板等で施設のPR活動を行う。
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	事業計画書3(3)	職員の応接マナーの向上に努め、利用者へのサービスを徹底する。 ・利用者へのあいさつ。 ・施設の利用にあたっての説明。 ・使用料の無料化・減免措置等の説明。 ・施設の利用者の要望・意見等を聞くほか、アンケート調査等を行う。
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4), 8	・施設の開館時は、施設内外を巡視し、利用者の安全を保持する。また、閉館時には、戸締まりを厳重にし、不審者の侵入を防止する。 ・節電、火災予防に留意する。 ・盗難等を発見したときは、その現場を保全し、警察に通報し、その指示を受け市に報告する。 ・災害が発生した場合は、直ちに市に報告をし、その指示を受けるとともに、臨時の措置を講ずる。 ・防火管理者を定め、消防訓練、避難訓練、消火消防設備の点検整備等の施設防火管理上必要な業務を行う。 ・利用者に関する事故があった場合は、速やかに市に報告する。 ・備品については、善良な管理者としてこれを使用し、その保全に努める。 ・施設内の修繕等の事由が生じた場合は、直ちに市に報告する。
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(5) 自主事業計画書	地域の特性を活かした自主事業の提案となっている。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	収支決算書のとおり、適正な収支状況で施設運営に努めたい。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	収支決算書のとおり、適正な収支状況で施設運営に努めたい。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	開館時間中は、常に1名以上の職員が勤務しセンターの管理に支障がないように定める。 ○所長 ・施設の管理運営及び維持管理等の総合調整、使用の許可の決定、事業計画及び予算の決定、資産の保管、市及び各種団体との連絡・調整 ○職員 2名 ・事業計画及び予算、決算等の作成、市の指定事業の計画等、施設の維持管理、広報活動、経理・庶務等、利用状況報告、各種保険業務、備品等の管理、物品の発注、職員の給与等の支払事務、職員の勤務表等作成 【職員の共通事務】 ・利用者の予約等受付に関する事、使用料の徴収に関する事。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報の保護に関する法令等の趣旨にのっとり、業務上知り得た個人情報については、個人の権利利益の侵害の防止を図る。職員は、当該施設の管理の業務上知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益若しくは不当な目的のために使用しないこと。その職を退いた後も同様であること。個人情報の適正管理に関して個人情報の保護に関する法令等の趣旨にのっとり、管理業務の遂行に伴って個人情報を取り扱う場合には、情報漏えいの防止、第三者への情報提供及び目的外使用の禁止等、適正管理のための内部規定やチェック体制を構築するなど必要な措置を講ずること。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	過去の収支決算書のとおり、適正な収支状況で施設運営に努めてきた。

新和地区体育文化交流センター収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	6,438	6,438	6,438	6,438	6,438	32,190	
うち指定管理料	6,438	6,438	6,438	6,438	6,438	32,190	指定管理料基準額
うち利用料金						0	
支出	6,438	6,438	6,438	6,438	6,438	32,190	(収入と同額)
うち人件費	5,967	5,967	5,967	5,967	5,967	29,835	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入	6,438	6,438	6,438	6,438	6,438	32,190	0	
うち指定管理料	6,438	6,438	6,438	6,438	6,438	32,190	0	
うち利用料金						0	0	
支出	6,438	6,438	6,438	6,438	6,438	32,190	0	
うち人件費	6,045	6,045	6,045	6,045	6,045	30,225	390	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

新和地区体育文化交流センター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		新和地区町会連合会	
		総額	内訳	総額	内訳
項目	市指定管理料	6,438		6,438	
	利用料金				
	その他				
収入合計(A)		6,438		6,438	
項目	人件費	5,967		6,045	
	常勤職員給料等	4,515		4,515	職員3名
	共済費	802		810	
	手当等	420		420	
	賃金等	230		300	
	報酬				
	事務費	379		269	
	消耗品費	291		175	
	印刷製本費				
	通信運搬費	5		4	切手代
	旅費	33		40	
	その他	50		50	芝刈機
	施設管理費	70		112	
	施設管理委託料				
	施設修繕料	70		112	
	原材料費				
	その他	22		12	健康診断料
支出合計(B)		6,438		6,438	
収支(A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

新和地区体育文化交流センター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	新和地区町会連合会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		250	174
① 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	75	53
② サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者への基本的なサービス向上を図るものとともに、利用者等の要望や意見を日常的及び定期的に把握するための仕組みを整え、把握した要望等について管理に反映するための具体的な計画が記載され、その実現性が高いものとなっているか。	75	52
③ 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	52
④ 自主事業の企画内容及び期待される効果	施設の設置目的を効果的に達成するために具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	17
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		75	61
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	25	21
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	378
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	75.6
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等

岩木嶽さわやかホール

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

岩木嶽さわやかホール評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	常盤野町会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	町会住民の保健福祉向上と住民同士のコミュニケーションを図ることを基本とし、施設の適正管理、サービスの向上、利用者の増加、個人情報の保護等を行う提案となっている。
(2)市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	施設の利用については、随時調整を図り、より多くの市民に利用いただける配慮をしていく。
(3)施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), (3), 7	町会の行事、イベント時に積極的に活用。町会の方にも、積極的な利用を呼び掛けるほか、サービス向上を図るため、予約時の対応を親切にするよう心掛ける、施設を安全に利用できるよう、施設内外の安全面を定期的に確認するなど配慮をしている。
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4)	施設の開館時に施設内外を巡視、節電、火災予防に留意、盗難、災害時の報告、指示の体制、備品等の保全を行う。
(4)施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	施設の管理に係る経費の内容については収支予算通りに適正に処理されている。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られている。
(5)施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	町会内で管理役員を決めている。施設管理に必要な研修や情報共有の実施。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報の漏えい防止に努めるよう、職員間で防止対策について情報共有を図り、利用者の名簿等の書類の適正管理を行う。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	常盤野町会では、規約の設定のほか、確固たる収入と計画的な支出を行っており、安定した収益基盤及び経営が伺える。

岩木嶽さわやかホール収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	324	324	324	324	324	1,620	
うちその他収入	294	294	294	294	294	1,470	常盤野町会から持ち出し
うち利用料金	30	30	30	30	30	150	
支出	324	324	324	324	324	1,620	(収入と同額)
うち人件費	0	0	0	0	0	0	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入	324	324	324	324	324	1,620	0	
うちその他収入	294	294	294	294	294	1,470	0	常盤野町会から持ち出し
うち利用料金	30	30	30	30	30	150	0	
支出	324	324	324	324	324	1,620	0	
うち人件費	0	0	0	0	0	0	0	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

岩木嶽さわやかホール収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		常盤野町会		
		総額	内訳	総額	内訳	
項 目	市指定管理料					
	利用料金	30		30		
	その他	294		294		
収入合計(A)		324		324		
項 目	人件費	0		0		
		常勤職員給料等				
		共済費				
		手当等				
		賃金等				
		報酬				
		事務費	70		70	
		消耗品費	5		5	
		印刷製本費				
		通信運搬費	15		15	
		旅費				
		その他	50		50	
		施設管理費	254		254	
		施設管理委託料				
		施設修繕料				
		原材料費	65		65	
		光熱水費	171		171	
	その他	18		18		
	その他					
支出合計(B)		324		324		
収 支 (A)-(B)		0		0		

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

岩木嶽さわやかホール指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	常盤野町会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		225	141
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	150	89
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	52
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		100	77
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	50	37
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	361
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	72.2
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等
岩木常盤野コミュニティセンター

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

岩木常盤野コミュニティセンター評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	枯木平周辺の住民の保健福祉向上と住民同士のコミュニケーションを図ることを基本とし、施設の適正管理、サービスの向上、利用者の増加、個人情報の保護等を行う提案となっている。
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	施設の利用については、随時調整を図り、より多くの市民に利用いただける配慮をしていく。
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), (3), 7	地域の行事、イベント時に積極的に活用。地域の方にも、積極的な利用を呼び掛けるほか、サービス向上を図るため、予約時の対応を親切にするよう心掛ける、施設を安全に利用できるよう、施設内外の安全面を定期的に確認するなど配慮をしている。
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4)	施設の開館時に施設内外を巡視、節電、火災予防に留意、盗難、災害時の報告、指示の体制、備品等の保全を行う。
(4) 施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	施設の管理に係る経費の内容については収支予算通りに適正に処理されている。
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られている。
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	管理組合内で管理役員を決めている。施設管理に必要な研修や情報共有の実施。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容となっているか。	事業計画書6	個人情報の漏えい防止に努めるよう、職員間で防止対策について情報共有を図り、利用者の名簿等の書類の適正管理を行う。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	管理組合では、規約の設定のほか、確固たる収入と計画的な支出を行っており、安定した収益基盤及び経営が伺える。

岩木常盤野コミュニティセンター収支予算比較表

弘前市 (千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入							
うちその他収入	337	337	337	337	337	1,685	
うち利用料金	297	297	297	297	297	1,485	管理組合から持ち出し
	40	40	40	40	40	200	
支出	337	337	337	337	337	1,685	(収入と同額)
うち人件費	0	0	0	0	0	0	
収入ー支出	0	0	0	0	0	0	

岩木常盤野コミュニティセンター管理組合 (千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入								
うちその他収入	337	337	337	337	337	1,685	0	
うち利用料金	297	297	297	297	297	1,485	0	管理組合から持ち出し
	40	40	40	40	40	200	0	
支出	337	337	337	337	337	1,685	0	
うち人件費	0	0	0	0	0	0	0	
収入ー支出	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

岩木常盤野コミュニティセンター収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		岩木常盤野コミュニティセンター管理組合	
		総額	内訳	総額	内訳
項目	市指定管理料				
	利用料金	40		40	
	その他	297		297	
収入合計(A)		337		337	
項目	人件費	0		0	
	常勤職員給料等				
	共済費				
	手当等				
	賃金等				
	報酬				
	事務費	66		66	
	消耗品費	5		5	
	印刷製本費				
	通信運搬費	1		1	
	旅費				
	その他	60		60	
	施設管理費	271		271	
	施設管理委託料				
	施設修繕料				
	原材料費	60		60	
	光熱水費	200		200	
	その他	11		11	
	その他				
	支出合計(B)		337		337
収支(A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

岩木常盤野コミュニティセンター指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		225	141
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	150	89
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	52
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		100	77
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	40
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	50	37
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	361
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	72.2
集計結果(順位)			—
選定結果			決定

指定管理者候補者選定案結果等

昂地区集会所

担当部課名	市民生活部 市民協働課
選定方法	非公募
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

昴地区集会所評価表における評価の視点からの申請書概要

評価項目	評価の視点	主な審査対象資料	昴町会
(1)総合的事項			
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	事業計画書1	市が示した管理運営方針に沿った提案となっている。
(2) 市民の平等な利用を確保することができること			
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書2, 3(1), 6	十分な効果が期待できる内容となっている。
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること			
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	事業計画書3(2), (3), 7	十分な効果が期待できる内容となっている。
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	事業計画書3(4)	十分な効果が期待できる内容となっている。
(4) 施設の効率的な管理運営ができること			
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	事業計画書9 収支予算書	適正に見込まれている
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	事業計画書9 収支予算書	可能性はある。
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実にを行う能力を有していること			
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	事業計画書4	十分出来ている。
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	事業計画書6	実現性が高い内容になっている。
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	現在の指定管理等の経営実績を説明するもの	適正な収支状況で施設運営に努めてきた。

昴地区集会所収支予算比較表

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	備考
収入	240	240	240	240	240	1,200	
うちその他収入	200	200	200	200	200	1,000	昴町会から持ち出し
うち利用料金	40	40	40	40	40	200	
支出	240	240	240	240	240	1,200	(収入と同額)
うち人件費	0	0	0	0	0	0	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	

(千円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	総額	弘前市との差額	備考
収入	240	240	240	240	240	1,200	0	
うちその他収入	200	200	200	200	200	1,000	0	昴町会から持ち出し
うち利用料金	40	40	40	40	40	200	0	
支出	240	240	240	240	240	1,200	0	
うち人件費	0	0	0	0	0	0	0	
収入一支出	0	0	0	0	0	0	0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

昴地区集会所収支予算内訳比較表(令和6～10年度)

(単位:千円)

団体名		弘前市		昴町会	
		総額	内訳	総額	内訳
項目	市指定管理料				
	利用料金	40		40	
	その他	200		200	
収入合計(A)		240		240	
項目	人件費	0		0	
	常勤職員給料等				
	共済費				
	手当等				
	賃金等				
	報酬				
	事務費	0		0	
	消耗品費				
	印刷製本費				
	通信運搬費				
	旅費				
	その他				
	施設管理費	240		240	
	施設管理委託料				
	施設修繕料	35		35	
	原材料費	40		40	
	光熱水費	150		150	
	その他	15		15	
	その他				
	支出合計(B)		240		240
収支(A)-(B)		0		0	

上記金額は、消費税及び地方消費税額を含む。

昴地区集会所指定管理者候補者選定結果一覧表

評価項目	評価の視点	配点	申請者
		内訳	昴町会
(1) 総合的事項		50	40
施設の設置目的及び市が示した管理運営の方針との適合性	設置目的を理解し、市が示した管理運営方針に沿った提案となっているか。	50	40
(2) 市民の平等な利用を確保することができること		25	21
平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	関係法令等の順守、利用者の平等な利用の確保、差別的な取り扱いをしないための具体的な手法が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	25	21
(3) 施設の設置目的を効果的に達成することができること		225	141
① 利用者の増加及びサービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の増加及びサービス向上を図るために、具体的な事業計画が記載され、十分な効果が期待できる内容となっているか。	150	89
② 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	市民が快適に施設を使用できるよう、施設を適正に維持管理するとともに、常に効率的、効果的な管理に努めることができるよう、具体的な実施計画が記載され、その内容が的確で実現性の高い内容となっているか。	75	52
(4) 施設の効率的な管理運営ができること		100	71
① 施設の管理運営に係る経費の内容	人件費を含めて、施設の管理に係る経費の内容が具体的で、適正に見込まれているか。	50	37
② 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。収支計画の実現可能性はあるか。	50	34
(5) 施設の管理運営を適正かつ確実に行う能力を有していること		100	82
① 安定的な管理運営が可能となる人的能力	団体の組織体制が確立され、指揮命令系統及び責任の所在が明らかになっているか。施設管理に係る職員の位置づけが明確にされているか。常に1名以上の職員を配置する計画となっているか。施設運営に配慮した人材の配置となっているか。職員確保の方策は適切か。職員の指導育成、研修体制は十分か。	50	40
② 個人情報等の適正な取扱いの確保	個人情報等の適正な取り扱いの確保について具体的に記載しており、その実現性が高い内容になっているか。	25	21
③ これまでの管理運営実績	これまでのセンターの管理運営実績について、適正な収支状況で施設運営に努めてきたか。	25	21
評点合計		500	355
委員数(人)			5
100点満点換算点		100	71.0
集計結果(順位)			—
選定結果			決定